様式3

高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間 ： 令和7年4月1日～令和8年3月31日

施設名	高松市男女共同参画センター

指定管理者	特定非営利活動法人たかまつ男女共同参画ネット	施設所管課等	人権・男女共同参画推進課
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年）	公募・非公募の別	公募
所在地	高松市松島町一丁目15番1号 たかまつミライエ 6F	業務の概要	施設の管理運営 男女共同参画センター事業 学習・研修活動推進事業 情報収集・提供事業 活動・交流支援事業
施設の概要	【施設】 鉄骨造 7階建の6階部分 【職員の状況】 センター長兼事務長1人 職員2人 こころの相談員2人 就労相談員3人 夜間管理職員2人 事務パート3人 【会館時間】 平日9:00～21:00 土、日祝日9:00～17:00 火、年末年始は休館		

	項目名	令和7年度	令和6年度	項目名	令和7年度	令和6年度
利用状況等	利用者数	32810 人	32153 人	施設稼働率	47.2 %	52.3 %
	学習研修事業等開催数	87 回	87 回	アンケート回収人数	464 人	309 人
	学習研修事業参加者数	1658 人	1451 人			
収支状況等	収入実績（指定管理料）	22019 千円	22042 千円		千円	千円
	支出実績	21262 千円	21251 千円		千円	千円
	精算残高（市へ返納）	0 千円	0 千円		千円	千円

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価コメント	所管課等評価
1 基本事項	①法令上必要な知識等、安全対策、危機管理 ②-1個人情報の保護・情報公開 ②-2環境への配慮	・労働関係法令や個人情報保護に関する通知・資料等については、職員へ回覧・共有を行い、必要な知識の周知に努めた。また、安全対策や危機管理についても、必要に応じて情報共有を行い、適切な対応に努めた。今後も継続して職員への周知・理解促進に取り組む。 ・個人情報保護に関する法令等を遵守し、業務上知り得た個人情報の適正な管理に努めた。また、情報公開についても関係法令に基づき適切に対応した。 ・再生紙の利用やごみの分別、適正な空調管理など、日常業務において環境負荷の軽減に努めた。また、消耗品等についても必要量を意識し、資源の有効活用に取り組んだ。	A
2 住民の平等な利用確保	①管理運営、施設事業との関連性 ②平等な利用の確保	・施設の円滑な管理運営に努めるとともに、市民の多様なニーズを踏まえながら、男女共同参画の推進や市民活動の支援につながる事業を実施した。また、利用者が安心して施設を利用できるよう、職員間で情報共有を行いながら適切な施設運営に努めた。 ・高齢者や子育て世代をはじめ、様々な立場の市民が利用しやすい施設となるよう、公平性・多様性に配慮した対応に努めた。また、利用者一人ひとりの状況に応じた丁寧な対応を心掛け、公平・公正なサービスの提供に努めた。	A
3 施設の効用の最大限の発揮	①利用促進対策 ②広報・PR対策 ③企画事業・自主事業 ④市・関係団体・地域等との連携 ⑤サービス向上の取組 ⑥相談・苦情への対応	・貸館利用の促進に向け、予約受付方法や運用について検討を行った。利用者アンケートを継続して実施し、利用者の意見や要望を把握しながら、より利用しやすい施設運営に努めた。 ・ホームページやInstagramを活用し、講座や事業の最新情報を随時発信した。また、ホームページの掲載内容について見直しを行い、利用者にとって分かりやすい情報提供となるよう調整を行った。あわせて、広報紙や新聞等への掲載、講座参加者へのチラシ配布など、多様な媒体を活用した広報に努めた。 ・男女共同参画の推進や女性の就労支援につながる講座・事業を実施した。また、就労支援のためのスーツ貸出事業やパープルBOX事業についても継続して実施し、必要とする方への支援に努めた。 ・登録団体や関係機関、市との連携を図りながら事業を実施した。また、登録団体との情報共有や協力体制の維持に努め、男女共同参画の推進に向けた連携を継続した。 ・利用者の立場に立った丁寧な対応を心掛けるとともに、施設や事業に関する情報を分かりやすく提供できるよう努めた。また、利用者からの意見を参考に、サービスの改善に取り組んだ。 ・利用者からの相談や意見、要望については内容を確認し、職員間で情報共有を行いながら、迅速かつ丁寧な対応に努めた。また、必要に応じて改善につなげ、利用者が安心して利用できる施設運営を心掛けた。	B
4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保	①職員確保計画等 ②教育・研修 ③就業規則等の遵守 ④施設運営の健全性の確保（経営状況の確認を含む） ⑤損害保険等 ⑥収支計画と執行管理	・必要な人員体制の確保に努めるとともに、職員間で業務を補完しながら施設運営を行った。また、法人運営や施設運営の体制整備を進め、安定した運営に努めた。 ・相談員を中心に、県や関係機関が実施する研修へ参加し、専門知識や相談対応能力の向上に努めた。また、職員についても必要に応じて研修や情報共有を行い、資質向上を図った。 ・法人運営や経理事務について見直しを進めるとともに、関係機関とも連携しながら、法人運営体制の整理・適正化に取り組んだ。また、施設運営についても運営状況を確認し、健全な管理運営に努めた。 ・利用者が安心して施設を利用できるよう、必要な損害保険へ継続して加入した。 ・予算に基づき適正な執行管理に努めるとともに、健全な財務運営に努めた。	B
5 管理に係る経費の縮減	①収入の確保 ・適正な人件費 ②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点 ③経営の効率化 ④合理的な会計制度	・限られた財源の中で、適正な人件費の執行に努めた。また、今後の事業運営を見据え、必要な人員体制について検討を進め、採用に向けた準備を行った。 ・消耗品の購入方法や印刷方法を工夫するなど、職員一人ひとりがコスト意識を持ち、運営経費の節減に努めた。また、限られた予算の中で、効果的な事業運営を意識しながら施設運営を行った。 ・法人運営や業務の見直しを進める中で、業務の効率化や運営体制の整理に取り組んだ。また、事業運営や事務処理についても効率的な運営を意識し、改善を進めた。 ・会計処理の適正化に向け、法人運営や経理体制の見直しを進めた。また、新たな会計システム導入に向けた準備を行い、今後のより効率的で適正な会計処理体制の整備を進めた。	B

総合評価コメント	総合評価
指定期間の最終年度を迎えたが、人員及び人件費や運営経費の見直しに努め、会計処理の適正化に向けた構築準備など、更なる組織体制の強化や運営方法の適正化・効率化に向けた努力が見られた点が評価できる。 事業運営や事務処理の改善を進め、健全な管理運営に取り組んでおり、安全対策や危機管理においても情報共有などの取り組みが行われている点は好ましい。 広報活動としてホームページやSNS、広報紙など多様な媒体を活用し、利用者への配慮や情報提供の分かりやすさ向上に対する努力が感じられる。 市民の多様なニーズに配慮したイベント開催や支援事業を継続的に実施し、関連団体や関係機関との連携に取り組んでいる姿勢が確認できる。	B